

編集室より

◇ 目に青葉、コイのぼりの青空にしみるような5月になって初夏の日差しが田仕事の背中に強く刺すようになって来ました。ゴールデンウィークは相憎の雨にたたられて行楽のプランの流れたお宅もあったことでしょうか、又この飛び石連休を利用して勤めながら農業を営む人は田耕し作業の計画がつぶれてがっかりしている人も多いことでしょう。

◇ 4月は公労協のストを中心とした春期闘争が空前のゼネストに発展すると世間を騒がしましたが、物価上昇の率に生活費を賄うことの出来ないのは農業経営者の方がよりしんどくです。都市労働者は賃上げを要求する相手がありますが農業従事者にはそれが無いのがゆさ。それが農業に見切りをつけていく姿となって現われているのが現実の姿です。

◇ 数年前までは兼業農家の増加が問題視され、長男兼業が関係者の間で論議されていたのですが、今では家ぐるみ、村ぐるみ離農の現象が全国的に問題化しています。岡山県を含む中国地方でもこの3年間に3%の農家が農村を離れ家ぐるみ都会へ移住していると報告されています。全国的には3カ年間に15万戸の農家が離村し、離農率は年々増加の一途をたどって既に人のいない村（おばけ村）が至るところに出現しているというのですから農業は行く先どうなるのかと、心配も身近かな問題としてひびいて参ります。岡山県の北部農村地帯でも農業に生計を依存している農家は1地域全体をみても数戸しか残っていないという例が多くみられるようになって来ました。

◇ 4月1日からの開放経済への移行と共に畜産物に自由化の波が押し迫って来ることは避けられない事実になって来ました。農業近代化の最先端と見なされ、農業構造改善事業でも畜産を主要作目とするものが6割を占めているという程、畜産は農業近代化の中心的存在。若しその畜産振興が失敗したら日本農業はどうなるのか、真げんな問題である筈で

ある。

◇ 苦悩する畜産の悩みの種は生産物の価格の安定問題と、飼料の大幅な値上りの問題でしょう。畜産物の価格安定をめぐる乳価紛争をはじめとして、7月の米価問題と3月の畜産物価格問題が2つの大きな年中行事化にさえなってきました。一方農家の購入する生産資材のうちこれまで王座を占めていた肥料を追い落して飼料は断然のトップにたっしまい「エサ高を解決しない限り畜産の前途は暗い」というのが農家の切実な要求です。

◇ こうした諸情勢が、一方では離農促進の方向をたどり、他方では残った人達による農業経営の大規模化の方向を促がし農業戦線の再整備が現実の動きとして浮び上って来ております。曲り角に立っている農業などと生ぬるいことをいっておれる時ではなく、なっている現在いつなん時180度の転換をするかもしれない農業の、その場に直面している我々としては何をしていくべきなのか、を反問するのではなく、現実を直視して自らの経営を細かに分析をし、可能性を見出し作り出すことに懸命でなくてはならないでしょう。

◇ 今月号では畜産の大規模化の問題点を特にとりあげて参考に供しました。

地域の特殊性を活かす上に、特異なケースを作り出した湯農養豚組合の事例は5月15日東京における全国大会で紹介されることになっています。農家の熱意と実行力は必らずしも悲観ばかりするには及ばないことを知るでありましょう。

本誌の予約申込要領

誌代

1部 50円（送料共）

年間予約 600円（送料共）

但し1部購入の場合は増頁号の誌代をその都度の価格とし、年間予約者は増頁特集号の分も1部50円

岡山畜産便り 1964.05

のサービス価格とす。

集団申込の特典

10部以上を一括で年間予約する方は1部誌代を45円にします。

100部以上を一括で年間予約する方は1部誌代を40円に割引きます。但しこの場合は一括購読ですから個人別発送は致しません。

申込方法

同封の振替用紙に代金を添え住所氏名明記の上申込んで下さい。

集団申込は代表者の名で何人分かを明記、誌代合計金額を払込んで下さい。但し申込みは前金を建前としております。

申込先

岡山市東田町53の3農業会館内
社団法人岡山県畜産会管理普及課
(電話) 岡山2—8575番
(口座番号) 岡山1303番